

ミニ・シンポジウム

JICA中米シャーマンガス病対策の経験と教訓 ー理想と現実の融合

- 座長
 - ー 上田直子: JICA元人間開発部感染症対策課
- 発表者
 - ー 橋本謙: 元広域専門家 2012-2014
 - ー 吉岡浩太: 元ニカラグア専門家 2010-2014
 - ー 橋場文香: 現役ニカラグア協力隊員 2013-2015
- 進行
 - ー 広域、国、地方の視点からの発表60分
 - ー 上記発表に基づいた議論(議題:人材育成) 30分



JICA中米シャーガス病対策プロジェクトの概要



広域

国

地方

元JICA中米シャーガス病対策広域専門家
ハーバード公衆衛生学院フェロー
橋本謙

2014年11月3日



第55回日本熱帯医学会大会

第29回日本国際保健医療学会学術大会

合同大会 jaih

ミニ・シンポジウム

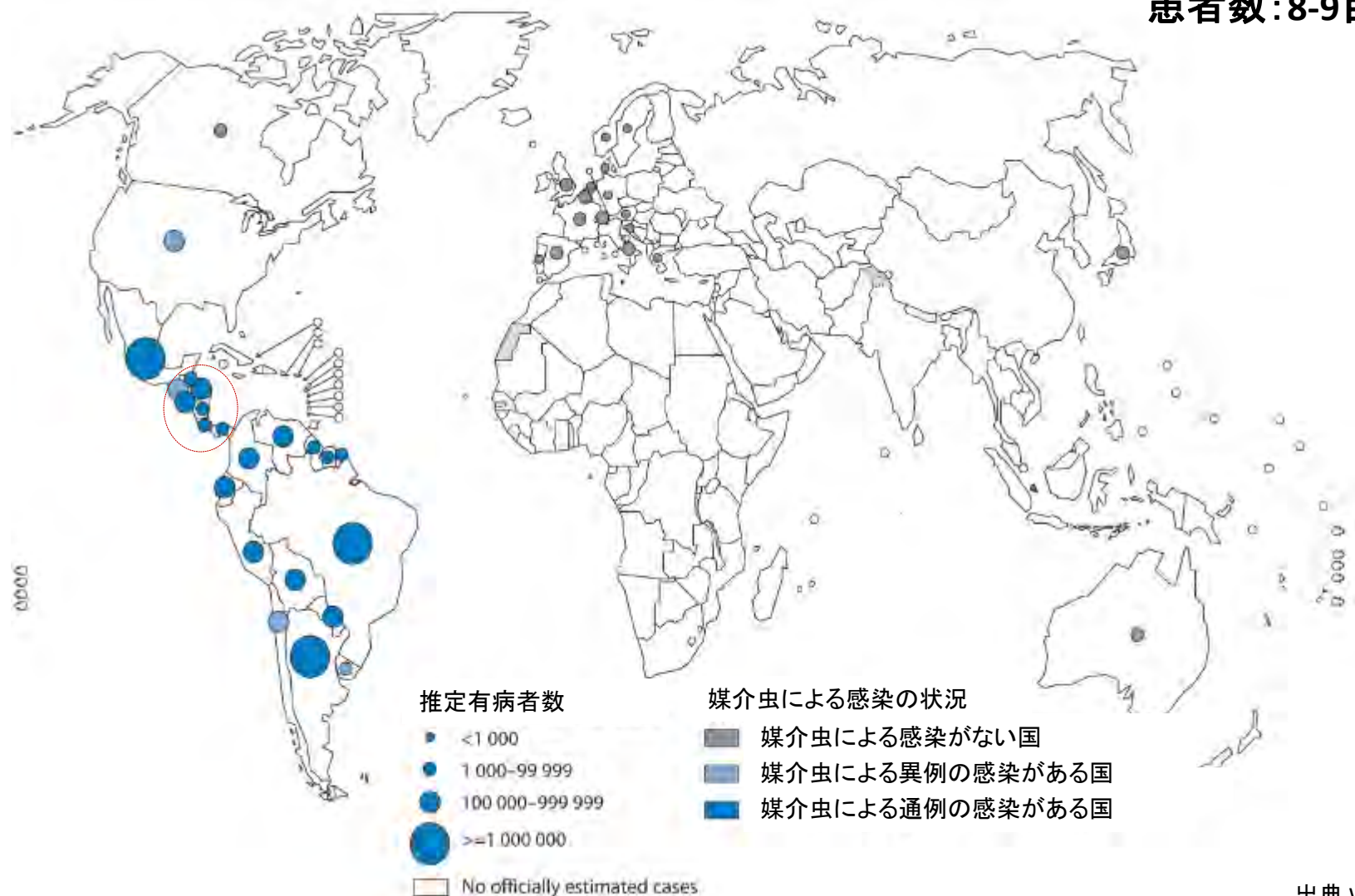
目次

1. シャーガス病と対策
2. プロジェクトの成果
3. 援助戦略



シャーガス病有病者の分布

2006-2009年の推定
患者数:8-9百万人



症状・診断・治療

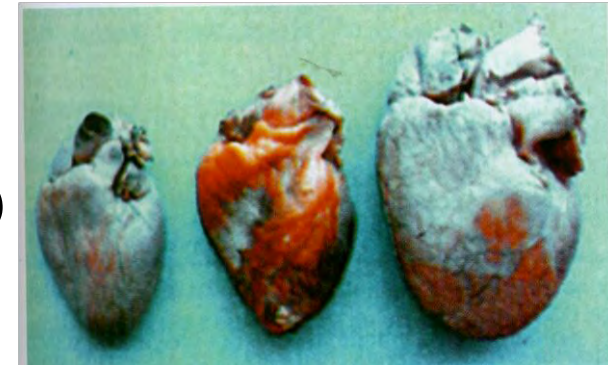
- 急性期

- 約6～8週間：発熱、局所リンパ節腫大、吸血部やまぶたの腫れ等（発症率<5%）



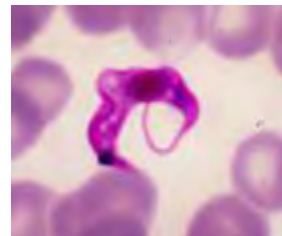
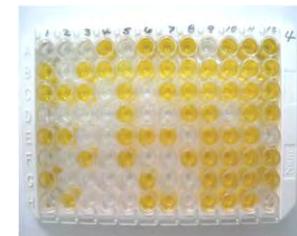
- 慢性期

- 約5～20年後に、心筋症、巨大消化管症（巨大食道・巨大結腸）等（発症率30-40%）



- 診断・治療

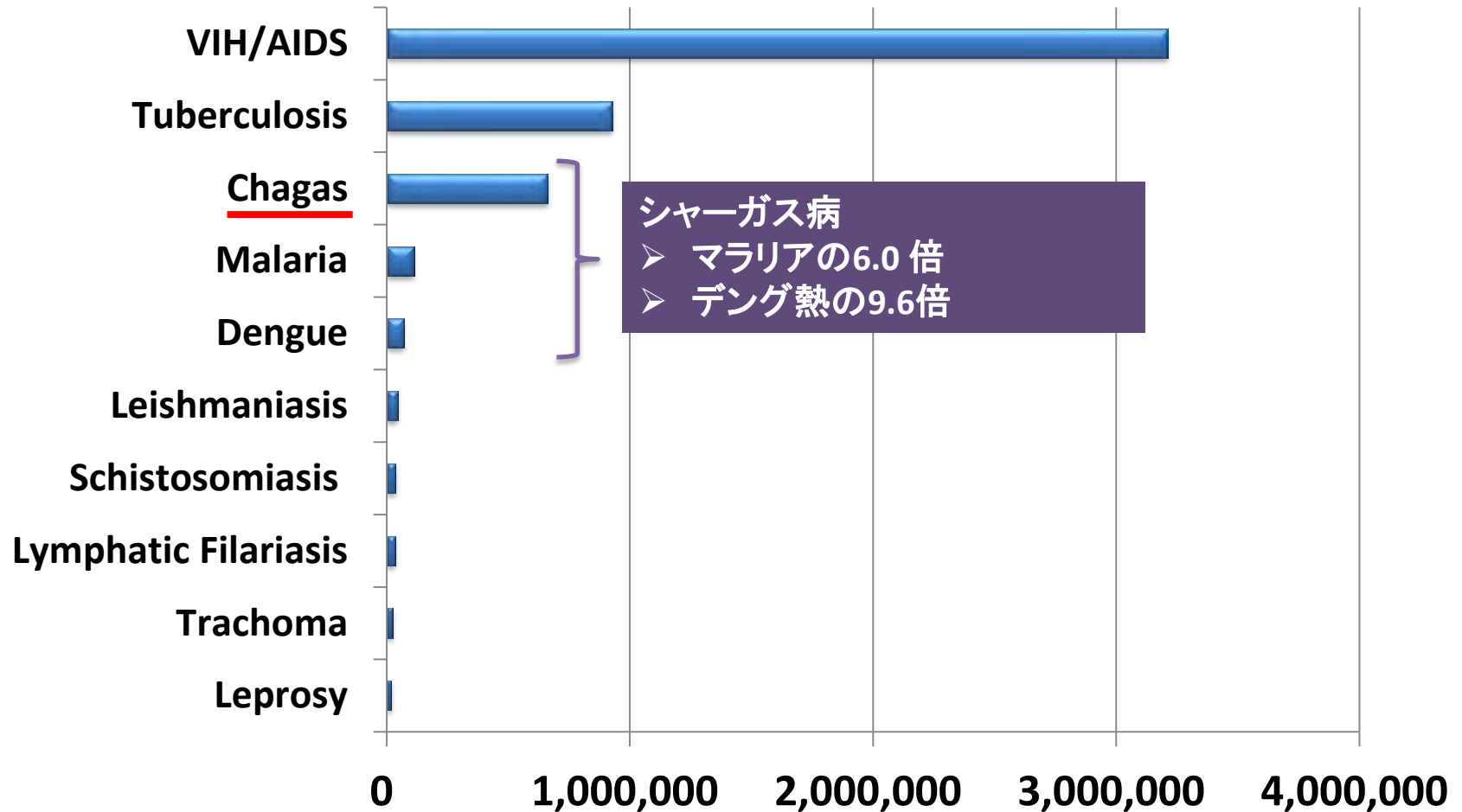
- 血液・血清検査
- Nifurtimox, Benznidazole



Trypanosoma cruzi

中南米における感染症の社会への影響

Disability-Adjusted Life Year (DALY), 2008



- Hookworm, Acariasis and Trichuriasis were not included for presenting a broad range of 130,500–1,923,000, 124,800–1,092,000 and 265,600–1,062,000 respectively.

感染経路



母子

その他

- 経口
- 臓器移植
- ラボでの事故など.

2%

<1%

16%

80%



輸血

媒介虫



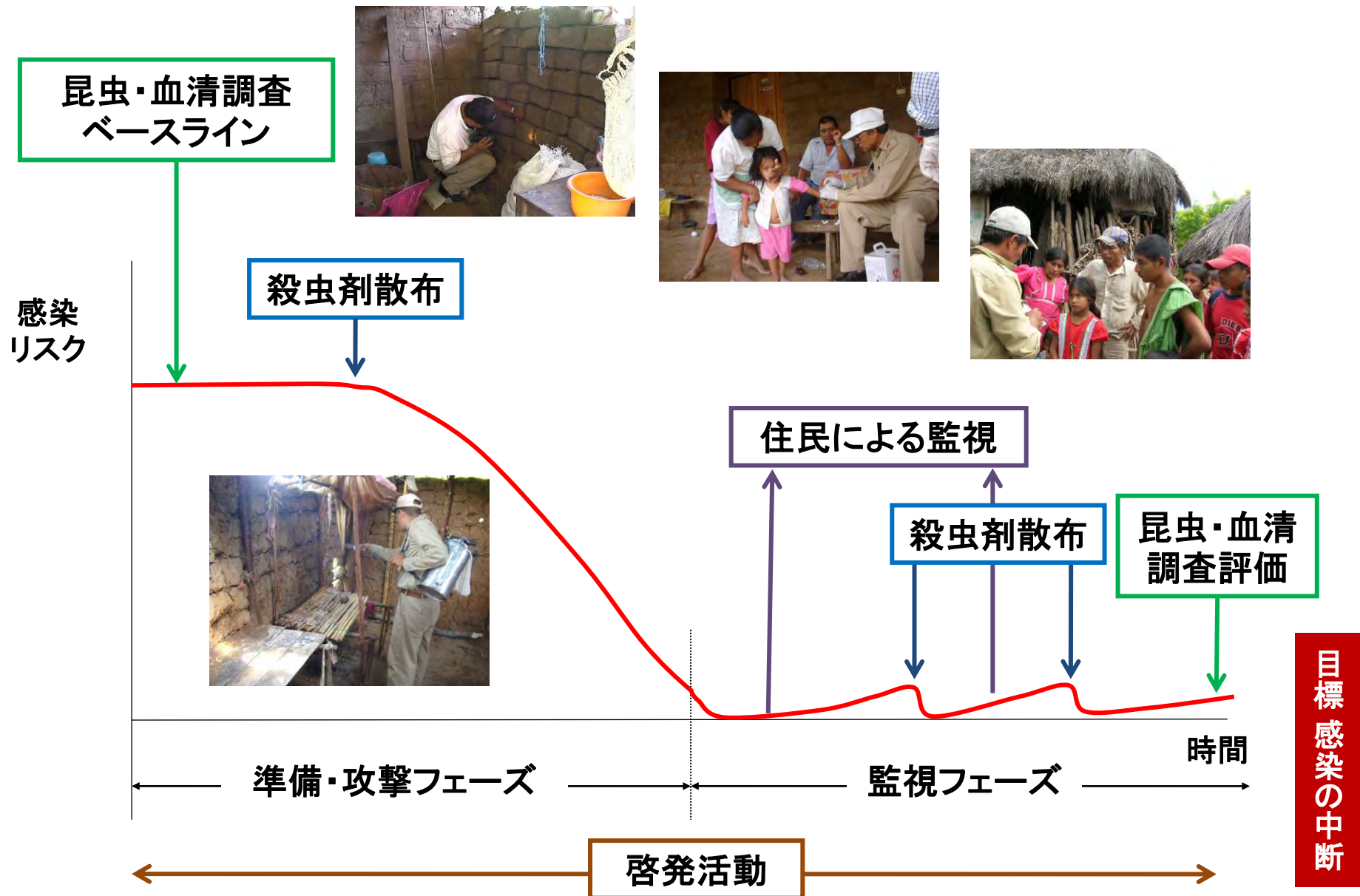
Rhodnius prolixus



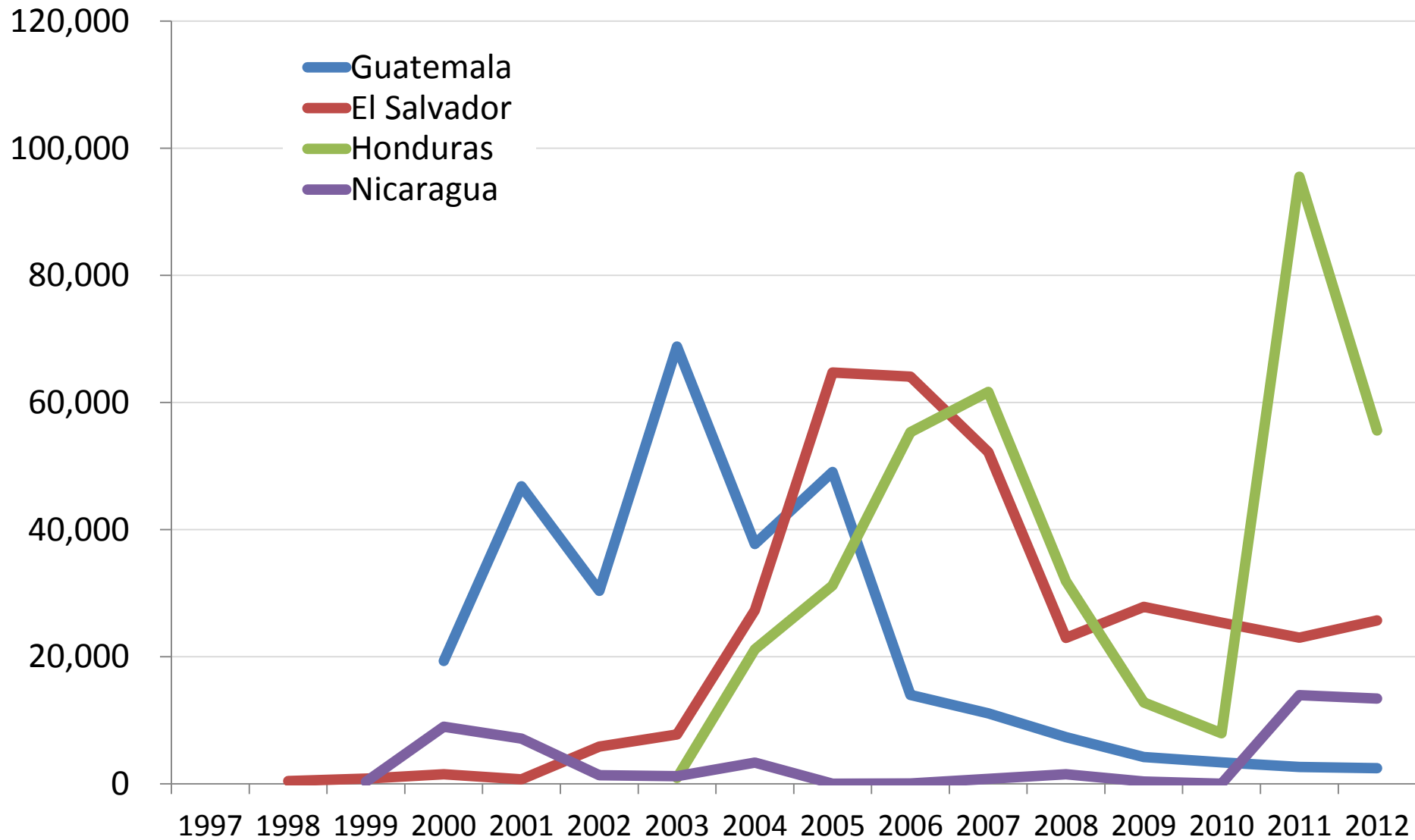
Triatoma dimidiata



シャーガス病媒介虫対策の戦略

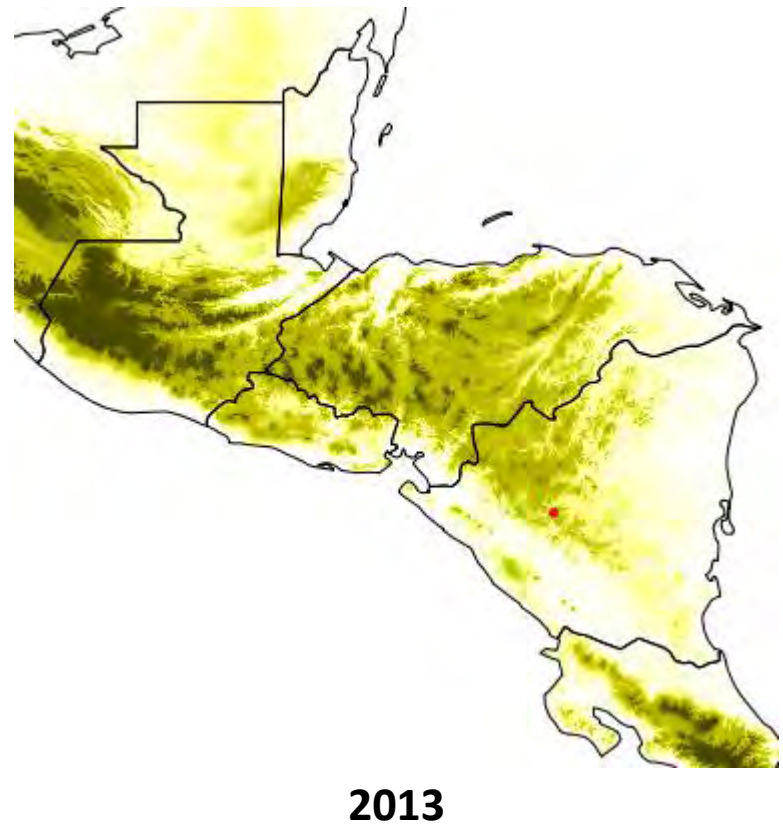
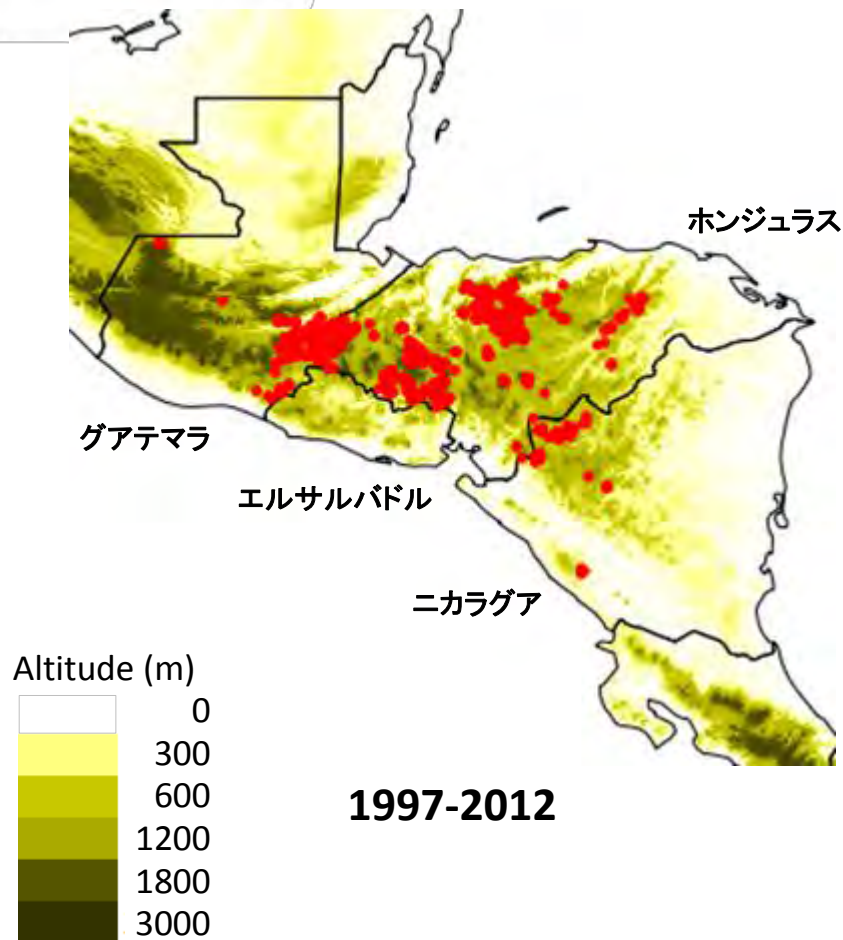


年間殺虫剤撒布家屋数



Source: Ministry of Health, Guatemala, El Salvador, Honduras and Nicaragua

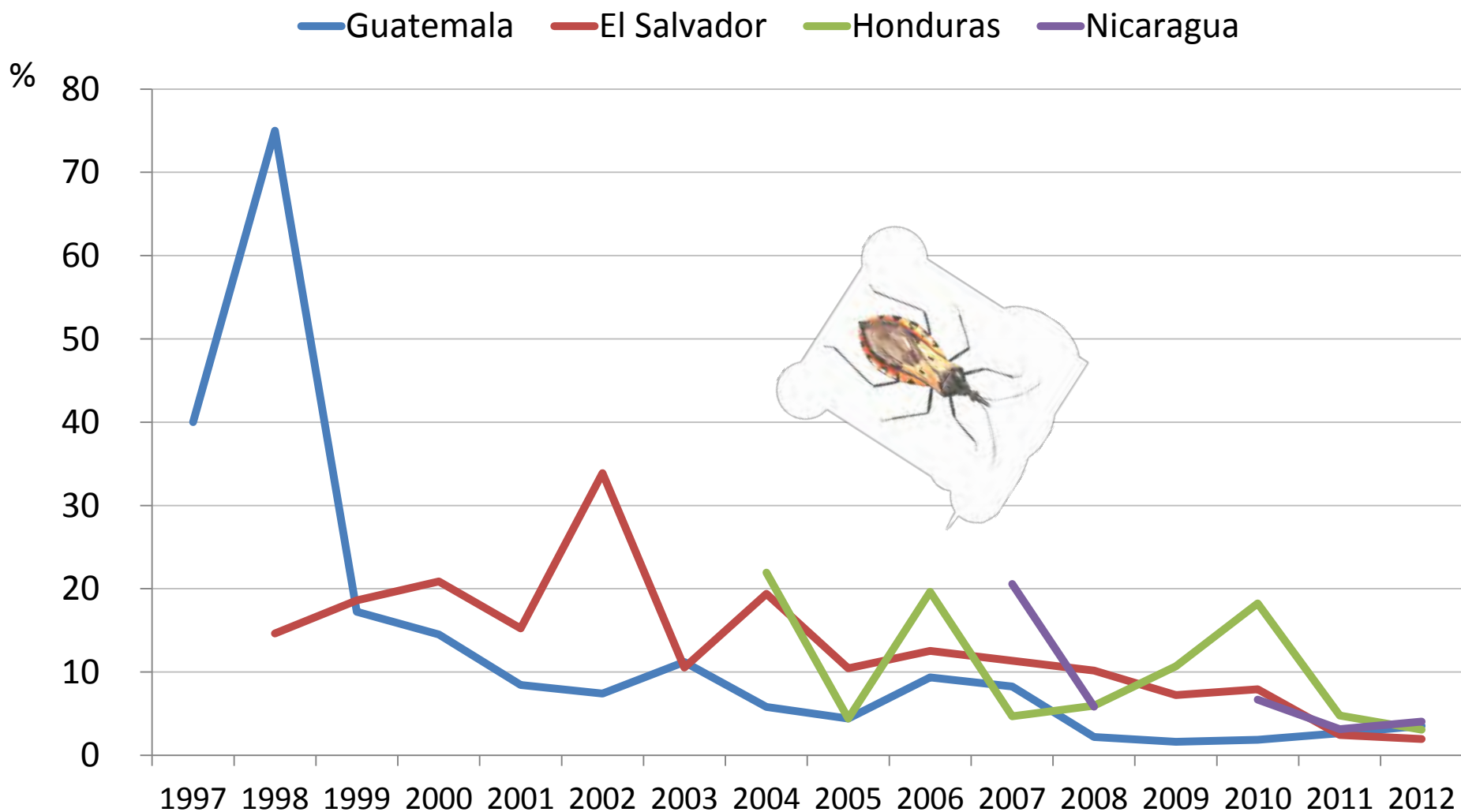
*R. prolixus*の生息集落



Source: Ministry of Health, Guatemala, El Salvador, Honduras and Nicaragua

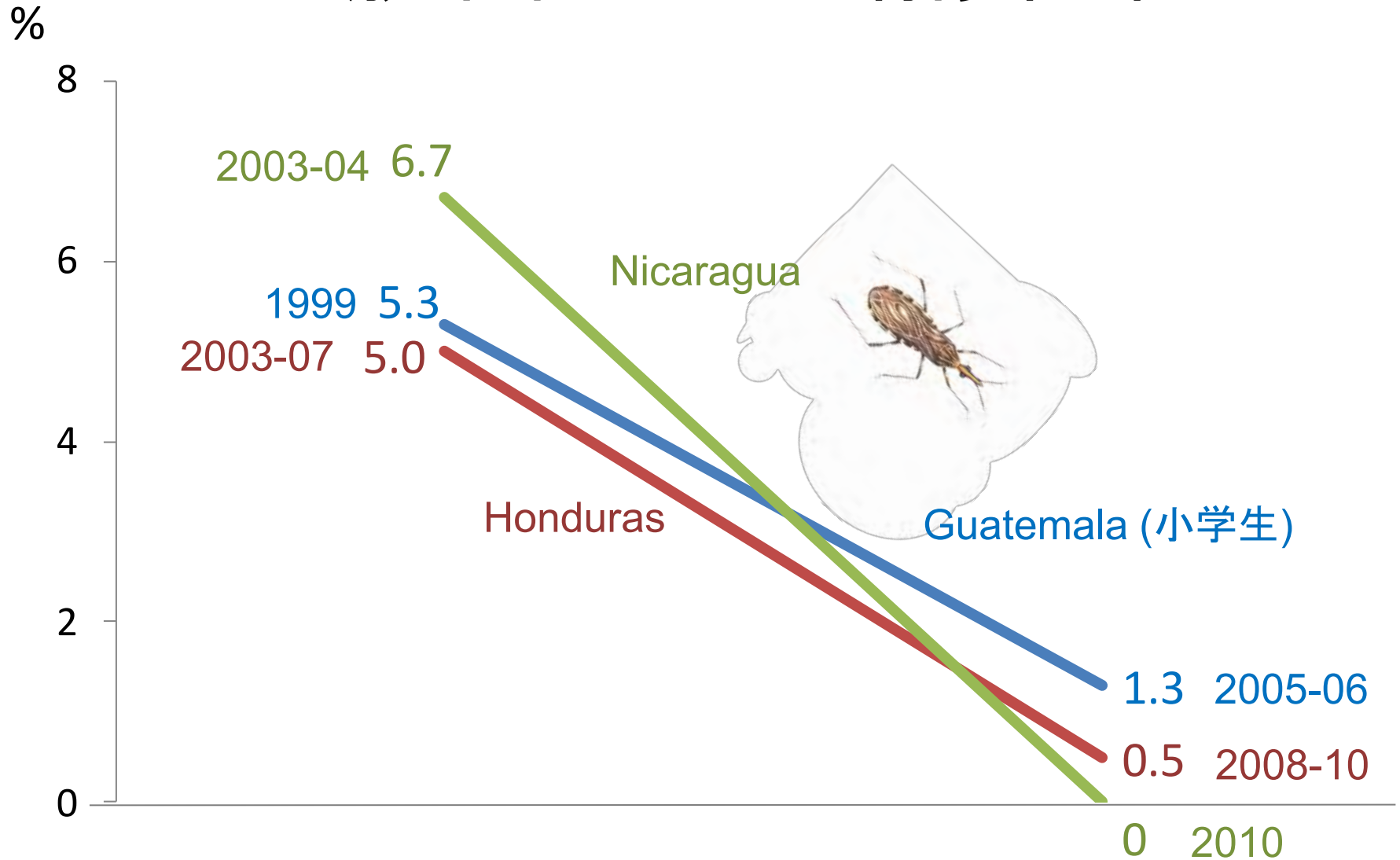
T. dimidiata 生息家屋率

1997-2012



Source: Ministry of Health, Guatemala, El Salvador, Honduras and Nicaragua

R. prolixus 生息歴のある集落での 15歳未満児童血清陽性率



Source: Ministry of Health, Guatemala, Honduras and Nicaragua

PAHO/WHOによる国際認定

<i>R. prolixus</i> による 感染中断		<i>R. prolixus</i> の消滅
グアテマラ	2008	
ホンジュラス	2011	
ニカラグア	2011	
エルサルバドル		2010



グアテマラ



ホンジュラス



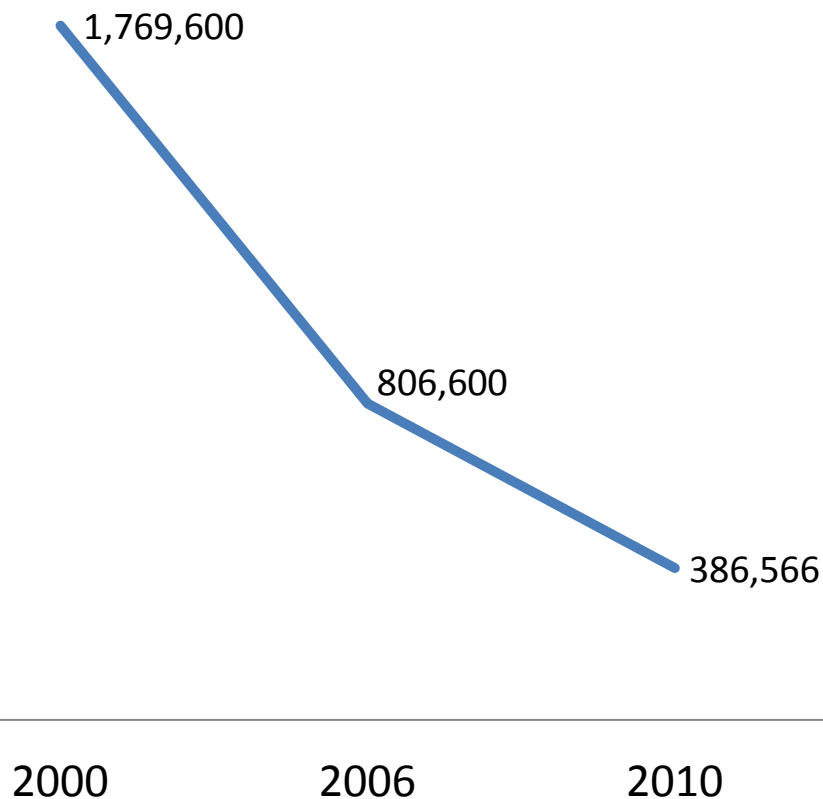
ニカラグア



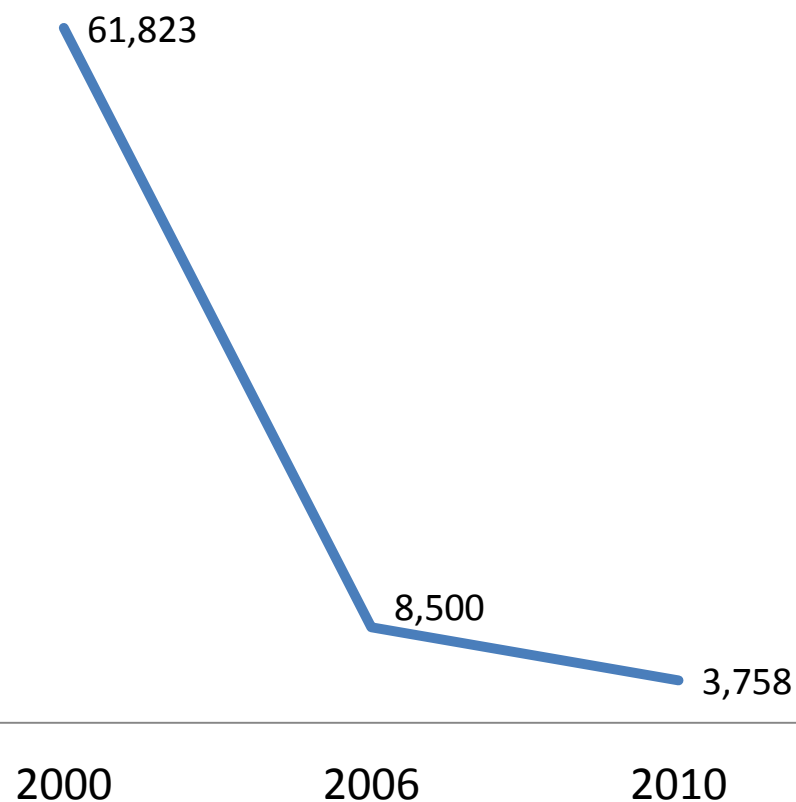
エルサルバドル

中米7カ国のシャーガス病患者の推移

推定有病者数

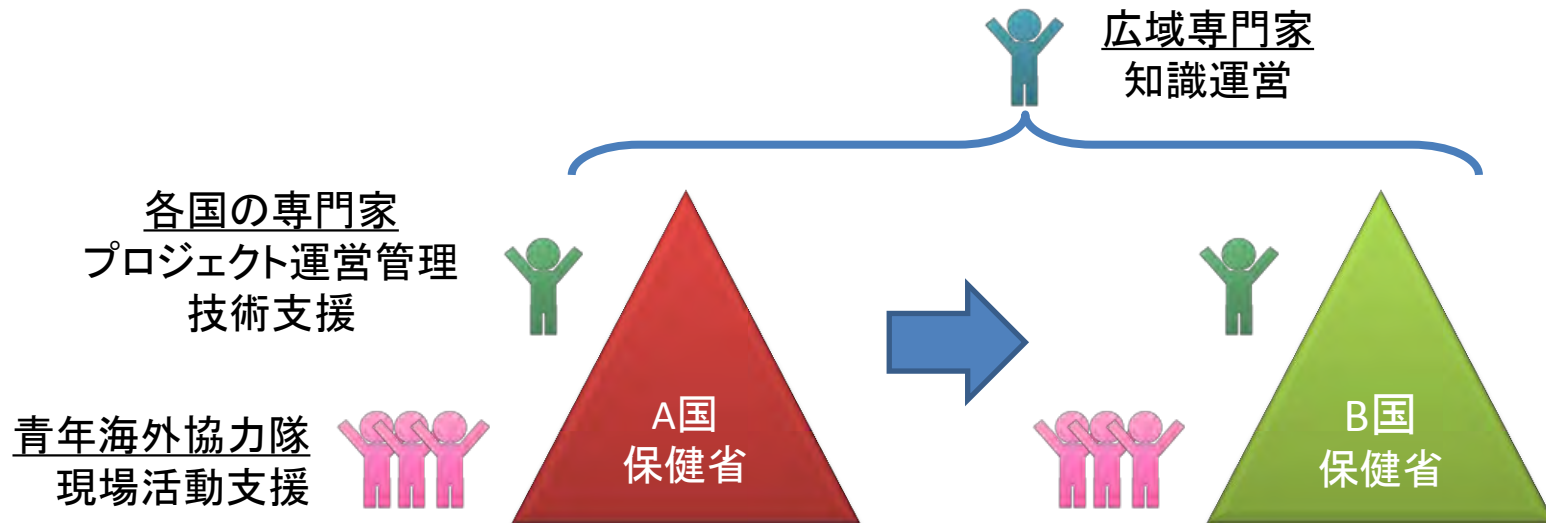


推定年間新規感染者数



プロジェクトの展開と投入

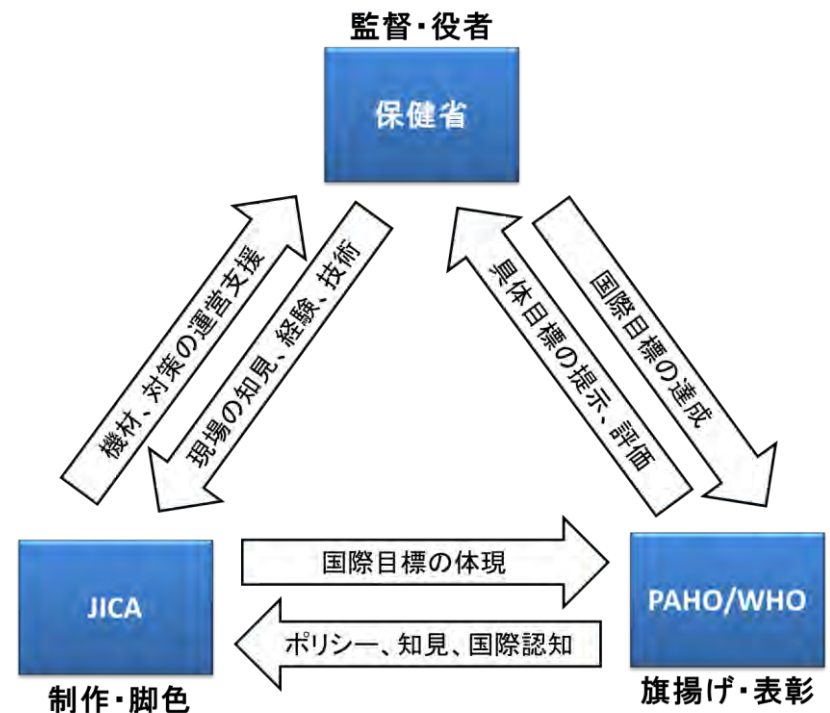
	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
グアテマラ	準備・攻撃フェーズ									監視フェーズ					
ホンジュラス				準備・攻撃フェーズ					監視フェーズ						
エルサルバドル				準備・攻撃フェーズ					監視フェーズ						
ニカラグア										攻撃・監視フェーズ					
中米広域					知識運営								知識運営		



他のJICAの投入： 殺虫剤、散布器、車両、血清検査キット、研修、教材など

広域戦略の要点

- 中米シャーガス病対策イニシアチブ IPCA
 - 国際目標、国際評価、国際認定
- 保健省、JICA、WHOのWin-Win戦略



人材育成にかかる教訓

- 広域プロジェクトの設計
 - 既存の広域プラットフォームの活用
 - 国際アジェンダ IPCA-PAHO/WHO、研究ネットワーク ECLAT
 - 小さく生んで大きく育てる
 - パイロット県→国内他県→広域展開
- 保健システム全体の強化
 - 異なる視点から仕組みと取組みを補強する
 - 虫・鳥・魚の目、多様な日本チーム・現地組織
 - 国内外で成長を促す機会を提供する
 - 知識の創造と運営→集団知力、当事者意識

ありがとうございました

